

## 地域再生計画 事後評価参考資料

都道府県名	山梨県		地域再生計画の名称	やまなし中北部エリア地域再生計画	
施行主体	山梨県、南アルプス市、北杜市、甲斐市、中央市		計画期間	平成22年度～平成26年度	
地域再生計画の概要	<p>本地域は、山梨県の中北部に位置し、南アルプス、秩父多摩甲斐、ハケ岳中信高原の3つの国立・国定公園を持ち、雄大な自然と景観を目当てに多くの観光客が訪れている。またワイナリーやフラワーパークなど、地域の特色を活かした農業観光施設が多く点在しているが、観光客の増加に対し宿泊客数は比例して増加しておらず、依然として日帰りの通過型の観光エリアとなっており、観光地間のアクセス道路整備の遅れという課題を抱えたままの状況となっている。そこで、従来の農林業施策の効率化と特産物の生産等を通じた産業の振興や生活環境の改善を目的に実施されてきた農林道整備事業と利用者の移動手段として実施されてきた市町村道整備事業とを組み合わせ、一元的かつ計画的に整備を進め、あらたな道路ネットワークを構築することが必要であり、その結果、観光地間のアクセス利便性が向上し観光振興に繋がるばかりでなく、農林産物の搬出経路の確保によるあらたな市場の開拓など農林業そのものの活性化にも寄与し、本エリアの再生に最も効率的であると考えられる。また、来訪観光客の安全を考え、市街地及びその周辺においては、安全・安心の地域づくりの観点から通行上危険な箇所を解消し、地域内での災害発生時等に避難誘導・救援活動を円滑にするための避難経路や輸送網の整備も重要であると考えられる。</p> <p>これらの課題を総合的に解決するため、地域内の観光振興に伴う関連事業と併せて、市道の改良事業、広域農道の新設・改良事業、林道の開設・改良・舗装事業を一体的に進めることとする。</p>				
地域再生を図るために 行う事業	<p>本エリアの北部においては、須玉IC、韮崎ICからハケ岳、茅ヶ岳南部方面へのアクセスを目的として、広域農道「ハケ岳南線」「甲斐駒ヶ岳線」「茅ヶ岳東部線」、北杜市の「市道52号線」、甲斐市の「市道大屋敷大久保線」及びその周辺林道等の整備を図る。また、南部においては、来訪観光客の安全・安心を確保するため、「下宮地荆沢線」、「田富西通り線」の整備を行うとともに、「観光振興施設整備への支援」により、南アルプス市の「市道古屋敷沓沢線」および「南アルプス林道」の改良事業を実施する。これらにより、中北部エリア全体として市道・広域農道・林道と既に整備済あるいは今後整備予定である高速道路や県道等との連携が図られ、観光地間をつなぐ安全・安心なアクセスルート網が構築される。</p>				
主な計画道路の 整備状況写真	甲斐市道 大屋敷大久保線 (着工前) (完成)	広域農道 甲斐駒ヶ岳線 (着工前) (完成)	林道 南アルプス線 (着工前) (完成)		
					
主な計画道路の 整備状況写真	南アルプス市道 古屋敷沓沢線 (着工前) (完成)	広域農道 ハケ岳南線 (着工前) (完成)			
					
主な計画道路の 整備状況写真	中央市道 田富西通り線 (着工前) (完成)	広域農道 茅ヶ岳東部線 (着工前) (完成)			
					